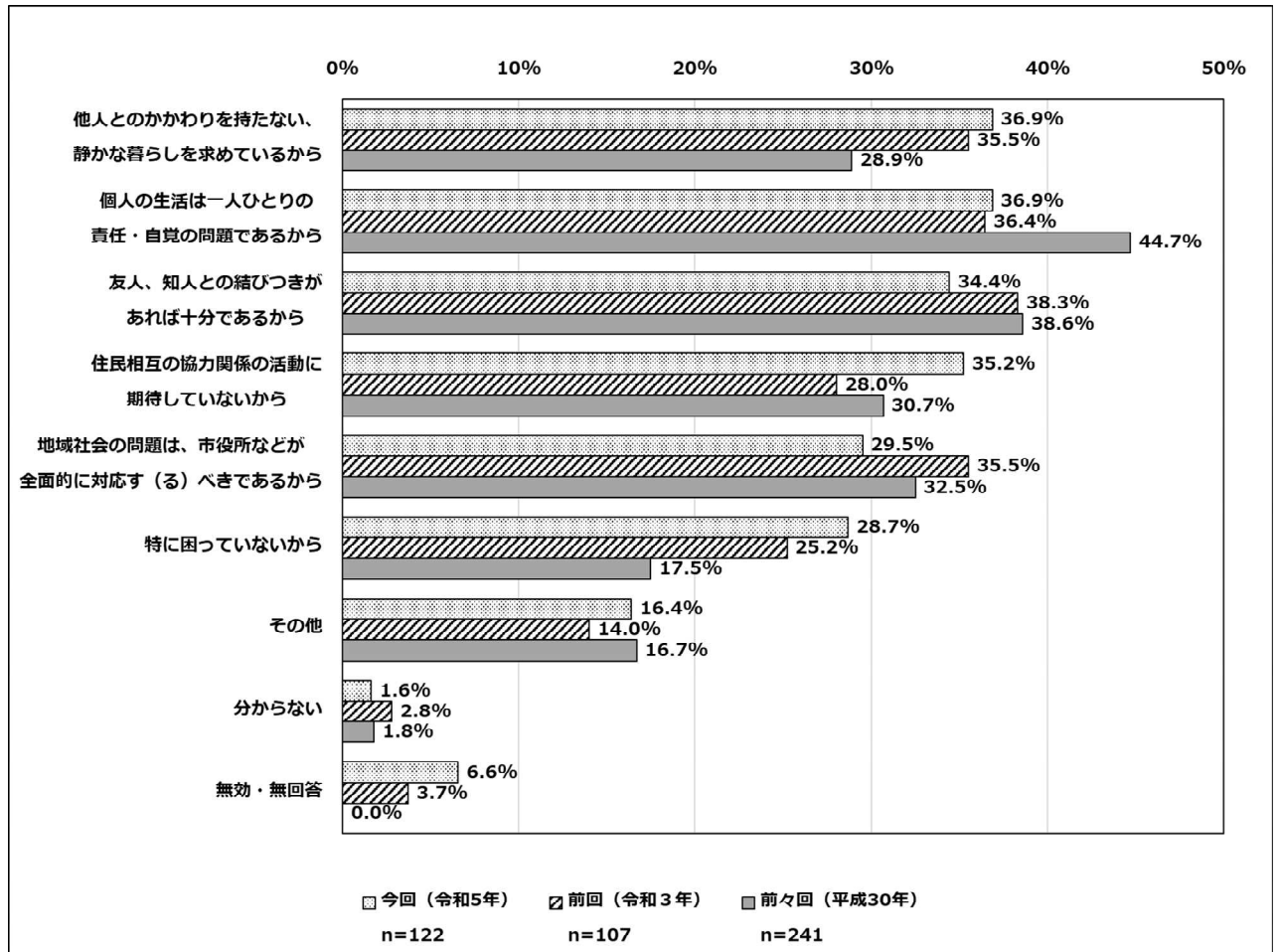


問 21 (問 19 で「3. あまり必要ないと思う」、「4. 必要ないと思う」のいずれかの回答をした人のみ)

近隣住民同士の支え合いが必要ないと思う理由は何ですか。

【あてはまるものすべてに○】

「他人とのかかわりを持たない、静かな暮らしを求めているから」と「個人の生活は一人ひとりの責任・自覚の問題であるから」が並んで 36.9% で最も多く、次いで「住民相互の協力関係の活動に期待していないから」(35.2%) となっています。



※前回、選択肢について、前々回から一部修正しました。

【前々回】

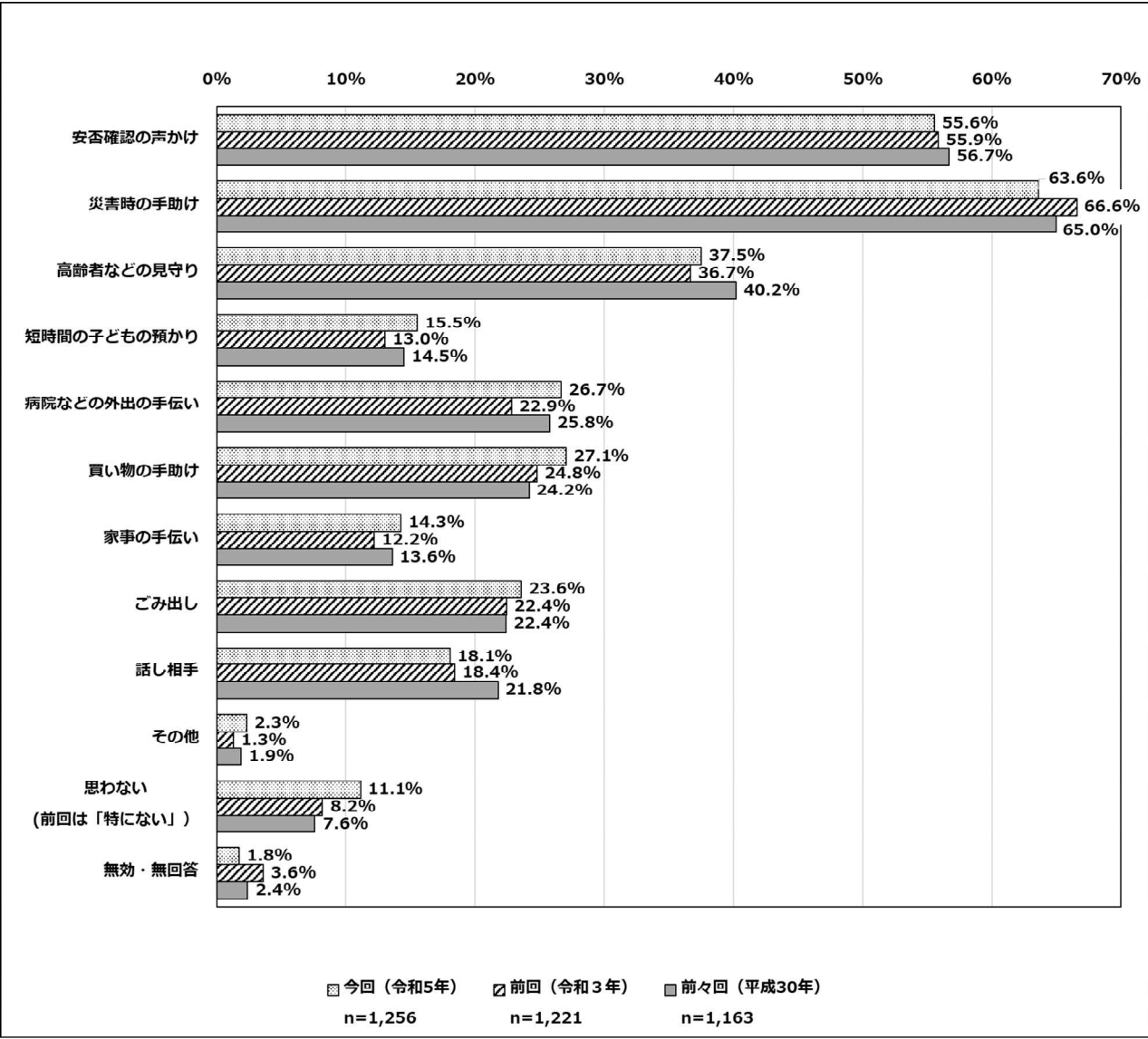
「地域社会の問題は、市役所などが全面的に対応すべきであるから」

「住民相互の協力の活動に期待していないから」

※前回から、項目の順序を入れ替えました。

問 22 あなたやご家族が、高齢や病気、もしくは子育てなどで日常生活が
不自由になったとき、地域でどのような手助けをしてほしいと思いますか
(公的なサービスを除く)。【あてはまるものすべてに○】

「災害時の手助け」が63.6%で最も多く、次いで「安否確認の声かけ」(55.6%)、
「高齢者などの見守り」(37.5%)となっています。



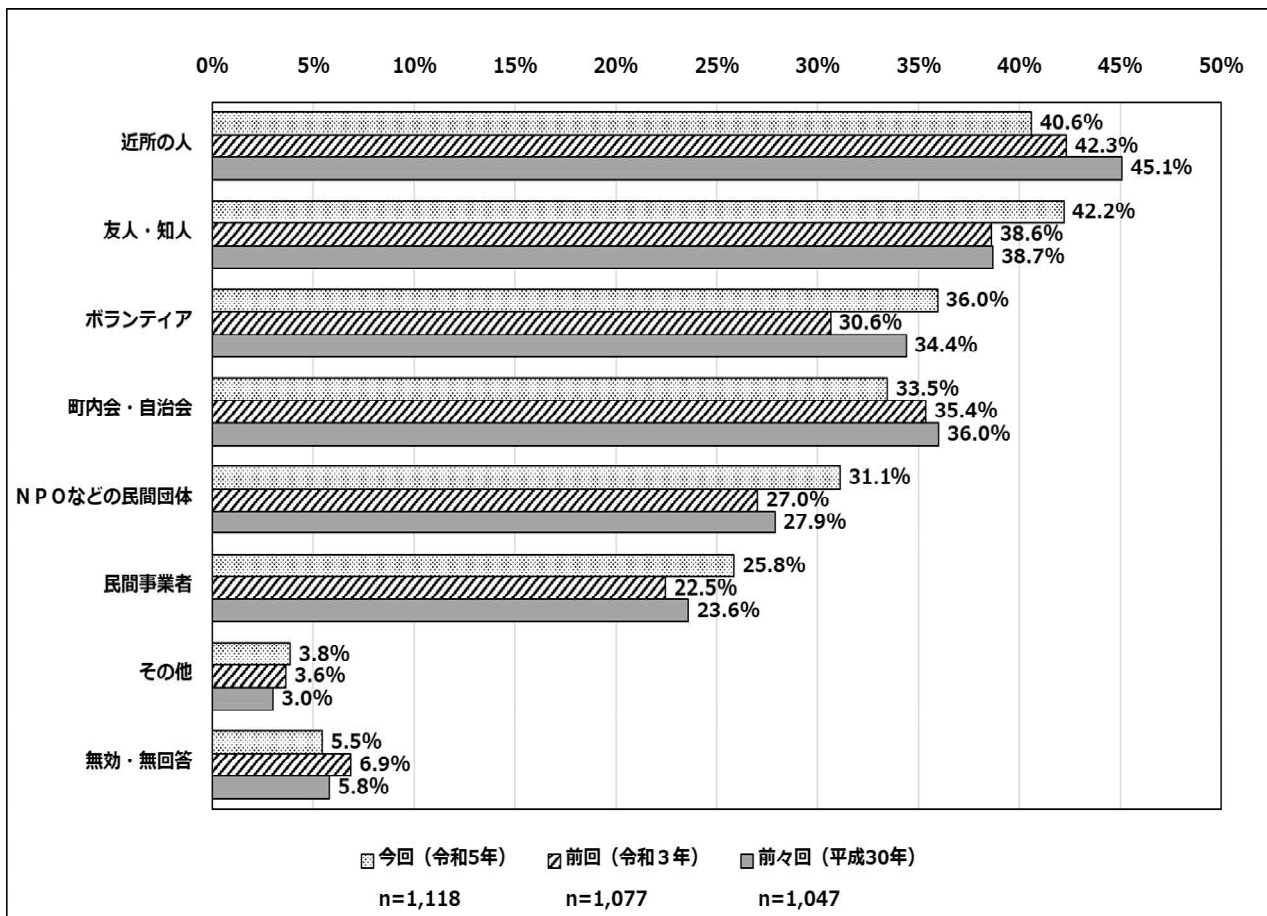
※前回から、項目の順序を入れ替えました。

問 23 (問 22 で「1~10」のいずれかに回答をした人のみ)

これらの地域の手助けを誰にしてほしいと思いますか。

【あてはまるものすべてに○】

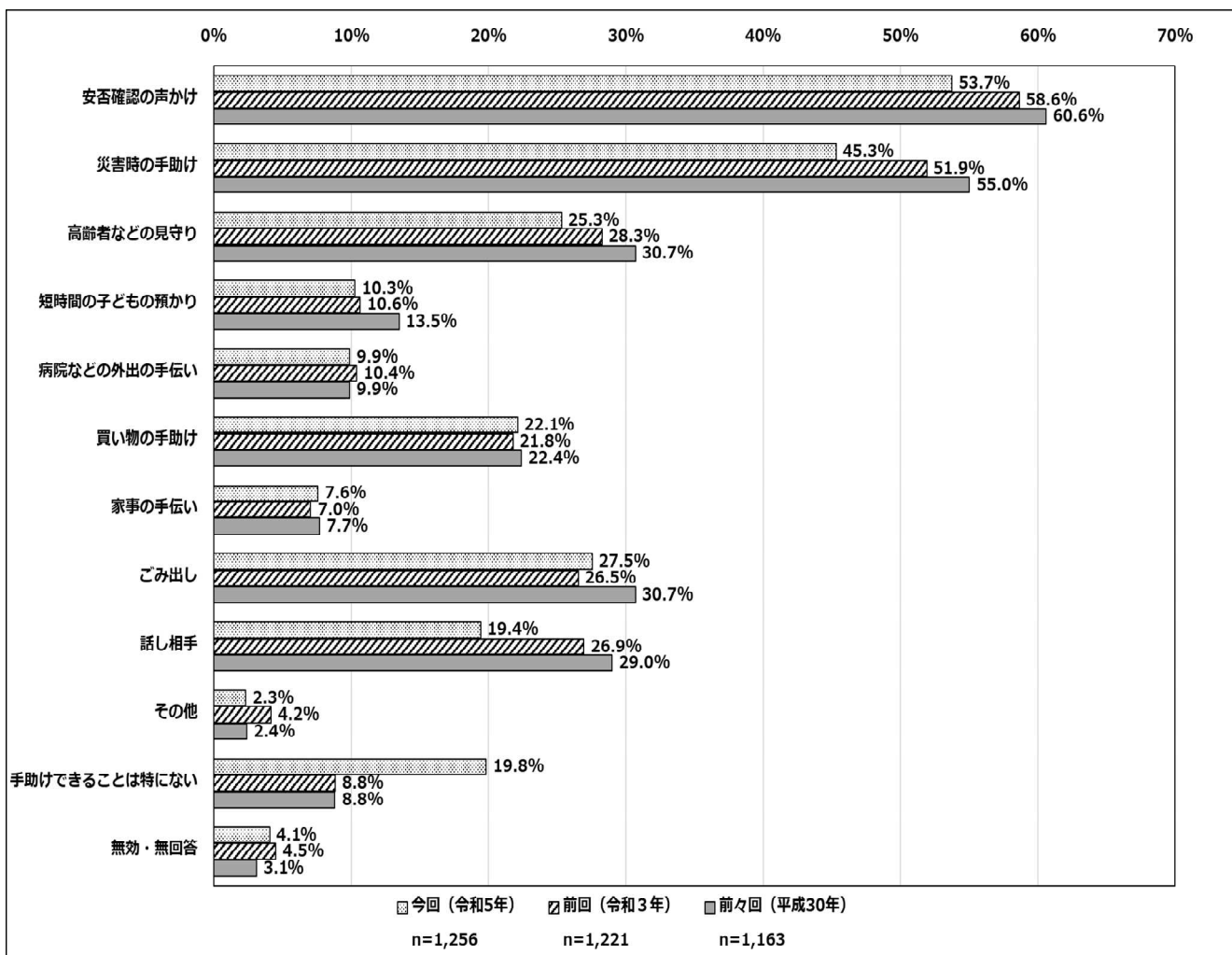
「友人・知人」が 42.2% で最も多く、次いで「近所の人」(40.6%)、「ボランティア」(36.0%)、「町内会・自治会」(33.5%) となっています。



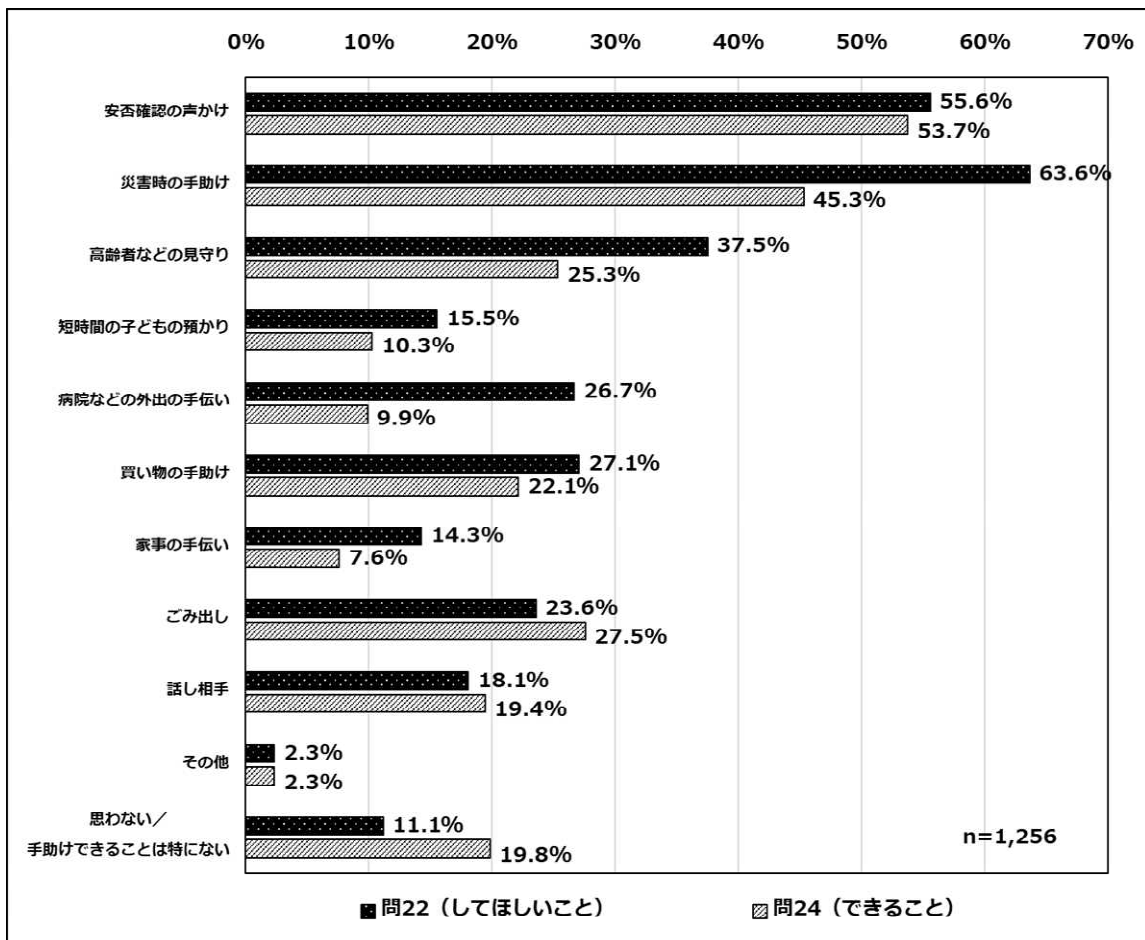
問 24 近隣に高齢者や障害のある人の介助・介護、子育てなどで困っている家庭があった場合、あなたはどのような手助けができますか。

【あてはまるものすべてに○】

「安否確認の声かけ」が53.7%で最も多く、次いで「災害時の手助け」(45.3%)、「ごみ出し」(27.5%)、「高齢者などの見守り」(25.3%)となっています。



【問 22 (してほしいこと) との比較】

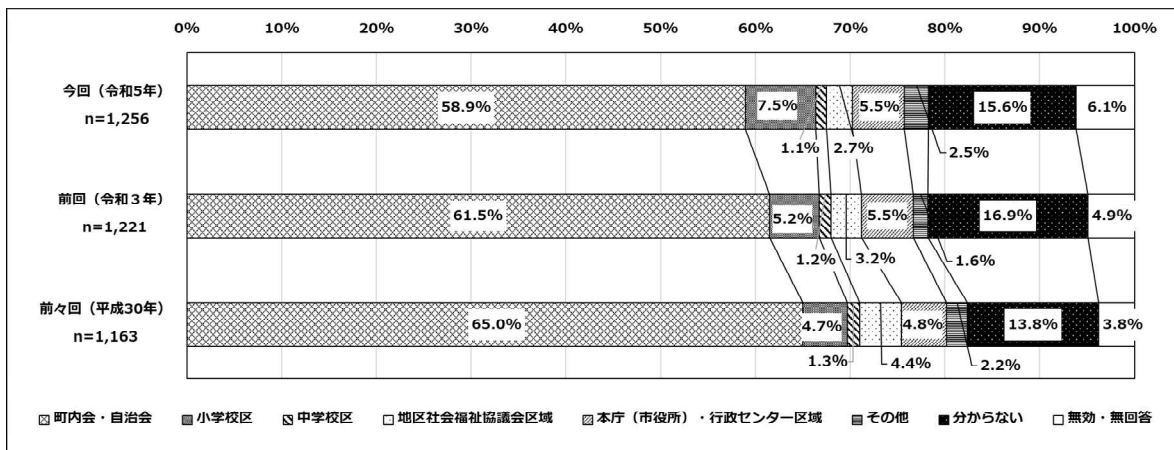


問 25 住民が互いに助け合いをするとしたら、どの程度の広さを単位として考えるのが最もよいと思いますか。【〇は1つ】

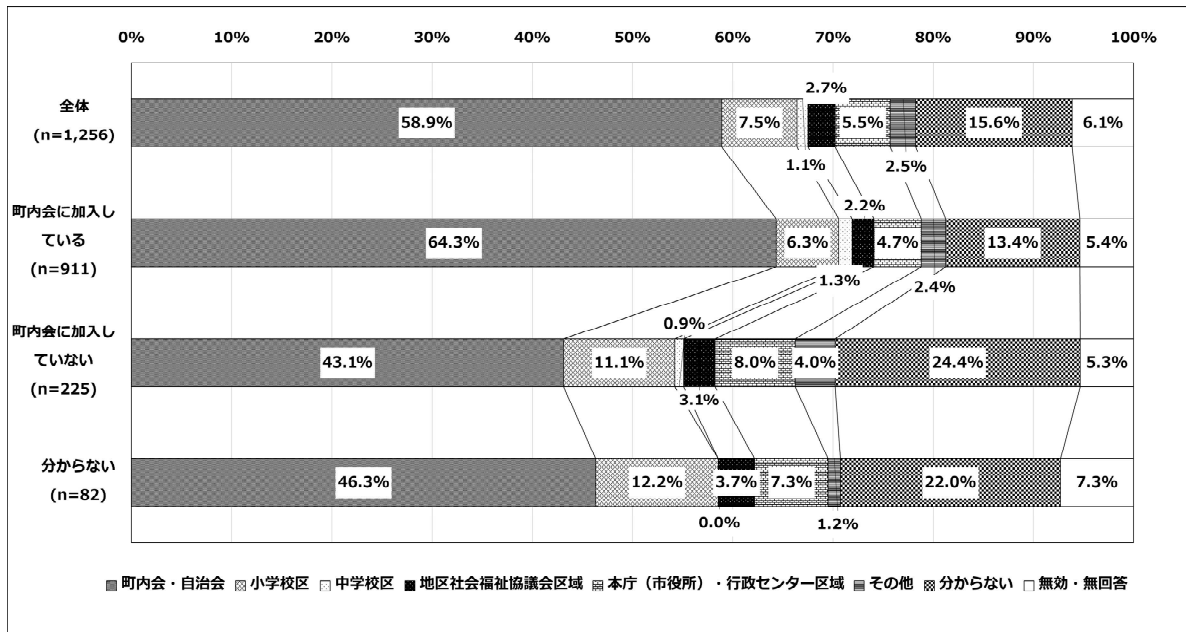
※前回の問 24 から聞き方を変えています。

(「どの「範囲」が」 ⇒ 「どの程度の広さを単位として考えるのが」)

「町内会・自治会」が最も多く、58.9%を占めます。



【問 11 (町内会加入の有無) 別比較】



※問 11 の無効・無回答 38